

社団法人 日本雪氷学会
2007年度通常総会資料

期日： 2007年5月21日 (月)

場所： 幕張メッセ国際会議場301A

社団法人日本雪氷学会
2007年度通常総会次第

1. 開 会

2. 議長および議事録署名人の選任

3. 議 事

第1号議案 2007・2008年度会長、理事、監事選任に関する件

第2号議案 2006年度事業報告、収支決算及び監査報告の承認に関する件

(1) 事業報告 (2) 収支決算 (3) 監査報告

第3号議案 2007年度事業計画及びこれに伴う収支予算について

(1) 事業計画 (2) 収支予算

4. 議長の解任

5. 報告：2007・2008年度 評議員、各種委員会(委員長と委員)、顧問

6. 2007年度井上フィールド科学研究基金助成対象者発表

7. 閉 会

第1号議案 2007・2008年度会長、理事、監事選任に関する件

会長、理事、監事候補者 (50音順)

会長 藤井 理行 (国立極地研究所)

理事 (15名) 東 信彦 (長岡技術科学大学)
足立 俊三 ((株)気象工学研究所)
井形 和彦 (東電設計(株))
上田 保司 ((株)精研)
遠藤八十一 (元 (独)森林総合研究所十日町試験地)
加治屋安彦 ((独)土木研究所 寒地土木研究所)
川田 邦夫 (富山大学 極東地域研究センター)
水津 重雄 ((株)ジオシステムズ)
角川 咲江 (西堀榮三郎記念探検の殿堂)
竹内 望 (千葉大学大学院 理学研究科)
西村 浩一 (新潟大学 自然科学系)
沼澤 喜一 (日本地下水開発(株))
本堂 武夫 (北海道大学 低温科学研究所)
山崎 剛 (東北大学大学院 理学研究科)
横山宏太郎 (農業・食品産業技術総合研究機構
中央農業総合センター)

監事 (2名) 成瀬 廉二 (NPO法人 氷河・雪氷圏環境研究所)
三橋 博巳 (日本大学 理工学部)

以上の他、次の支部長4名が理事として加わる。

北海道支部： 山田 知充 (元 北海道大学低温科学研究所)

東北支部： 力石 國男 (弘前大学 理工学研究科)

北信越支部： 佐藤 篤司 ((独)防災科学技術研究所

雪氷防災研究センター)

関東・中部・西日本支部： 成田 秀明 (元 海上技術安全研究所)

第2号議案 2006年度事業報告並びに収支決算書承認に関する件

(1) 事業報告

1. 研究会等の開催(定款第5条2号)

1-1. 2006年度全国大会を11月14～17日に秋田市民交流プラザALVEで開催した。

研究発表(参加者:308名,発表:242件),公開講演会(参加者:150名)。

1-2. 第17回雪崩対策の基礎技術研修会を12月18～19日に北海道札幌市で開催した。

参加者:42名。

1-3. 公開シンポジウム『雪と氷の大陸「南極」から地球環境をさぐる』を11月18日に秋田市民交流プラザALVEで開催した(文部科学省平成18年度科学研究費補助金による)。

参加者:145名。

1-4. 「雪氷学セッション」を5月15日に開催した。(日本地球惑星科学連合2006大会期間中,会場は幕張メッセ国際会議場。

1-5. 各支部・分科会等において研究会等を開催した。

2. 会誌等の刊行(定款第5条3号)

2-1. 和文誌「雪氷」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成18年 5月15日	68	3	1400部
平成18年 7月15日	68	4	1400部
平成18年 9月15日	68	5	1400部
平成18年11月15日	68	6	1400部
平成19年 1月15日	69	1	1400部
平成19年 3月15日	69	2	1400部

2-2. 平成19年1月に英文誌「Bulletin of Glaciological Research (BGR)」Vol.24を400部発行した。

2-3. 北海道支部で機関誌「北海道の雪氷」25号を刊行した。

2-4. 東北支部で機関誌「東北の雪と生活」21号を刊行した。

2-5. 北信越支部で機関誌「雪氷北信越」26号を刊行した。

2-6. 2006年度版雪氷ダイレクトリーを発刊した。

2-7. ホームページによる情報発信を行った。

3. その他の事業(定款第5条4号)

3-1. 日本雪氷学会学会賞の表彰を下記に対し行なった。

技術賞(2件) ・(独)防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター,

・村本健一郎・椎名徹

平田賞(2名)

・根本征樹, ・竹内 望

特別功績賞(1件) ・新潟県中越地震、雪氷災害調査検討委員会
論文賞(1件) ・山崎 学、石井吉之、石川信敬

- 3-2. 中谷宇吉郎科学奨励賞の候補者を推薦した。
- 3-3. 4支部が各種活動を行なった。
- 3-4. 当法人に設置された分科会、研究会が各種活動を行なった。
- 3-5. 井上フィールド科学研究基金による研究助成を2件行なった。
- 3-7. 各種講演会等の協賛(5件)、後援(6件)を行なった。

4. 総務事項

4-1. 2006年度通常総会1回, 理事会6回, 評議員会1回を開催した。

通常総会 2006年5月15日
第1回理事会 2006年5月15日
第2回理事会 2006年6月5日～6月20日(文書審議理事会)
第3回理事会 2006年8月19日～9月7日(文書審議理事会)
第4回理事会 2006年11月15日
第5回理事会 2007年1月9日～1月22日(文書審議理事会)
第6回理事会 2007年3月7日
評議員会 2006年11月16日

4-2. 2007・2008年度役員選挙を行なった。

4-3. 各委員会が活動を行なった。

- ① 総務委員会 ② 財務委員会 ③ 学術委員会
- ④ 事業委員会 ⑤ 雪氷編集委員会 ⑥ 広報委員会
- ⑦ BGR編集委員会 ⑧ 電子情報委員会

会員数の推移は以下の通りである。

	2006. 3. 31	2007. 3. 31
正会員	940	945
名誉会員	14	13
終身会員	34	44
特別会員	19	19
賛助会員	84	82
購読会員	134	130

(各支部・分科会等の事業報告の詳細は別添を参照)

北海道支部

1. 支部総会の開催(北大学術交流会館 5月10日)
2. 春の講演会の開催(北大学術交流会館 5月10日 講演:2件 参加者:80名)
3. 研究発表会の開催(北大学術交流会館 6月16日 発表:24件 参加者:80名)
4. 機関誌「北海道の雪氷」25号(350部)の刊行
5. ニュースレターNo. 23、24、25の刊行
6. 地域講演会の開催(稚内市 10月21日 参加者:70名)
7. 理事会・幹事会等会議の開催
8. 各種共催事業(1件)
9. 後援事業(2件)
10. 雪崩災害共同調査(1件)
11. 支部ホームページの運営
12. 支部メーリングリストの開設

東北支部

1. 支部総会の開催(青森県教育会館 4月14日)
2. 研究発表会の開催(青森県教育会館 4月14、15日 発表:18件)
3. 特別講演会の開催(青森県教育会館 4月14日 講演:2件)
4. 全国大会の開催(秋田市民交流プラザ ALVE 11月14日～18日)
5. 積雪観測講習会の開催(蔵王温泉旅館季の里 3月15日)
6. 機関誌「東北の雪と生活」21号の刊行
7. ニュースレターNo. 36, No. 37, No. 38の刊行
8. 2005年度東北雪氷賞の表彰(3件)
9. 理事会・幹事会等会議の開催

北信越支部

1. 2006年度北信越支部総会の開催(5月13日 長岡技術科学大学)
2. 研究発表会・製品発表検討会の開催(5月13日 長岡技術科学大学 参加者:64名)
3. 講演会の開催 なし
4. 見学会の開催
第12回雪形ウォッチング(4月29、30日 新潟県長岡市 参加者:55名)
5. 学習会の開催(4月10日 アトリウム長岡 参加者:59名, 8月10日 新潟大学災害復興科学センター)

参加者:19名, 9月30日 ニュー・グリーンピア津南 参加者:33名)

6. 講習会の開催 なし
7. 各種共催事業(1件)
8. 後援事業(3件)
9. 機関誌「雪氷北信越」26号の刊行
10. 北信越支部ホームページの更新
11. 2006年度北信越支部賞の表彰(4件)
12. 理事・幹事合同会議の開催(2回)
13. 顧問・評議員会の開催(1回)

関東・中部・西日本支部

1. 支部総会の開催(4月4日, 東京・化学会館)
2. 第15回雪氷サロンの開催(8月19日, 学士会館 丸山茂徳氏『地球史における氷期』参加者21名)
3. 関西分会講演会の開催(1月27日, 近畿大学農学部 山下晃氏『雪と氷の科学の普及』)
4. 雪氷フォーラム第8号の発行(2006年7月)
5. 支部役員会の開催1回(4月4日, 東京・化学会館)
6. 役員会・総会議事報告(3月20日 郵送)

氷河情報センター

1. 総会の開催(11月14日 秋田市)
2. ミニシンポジウムの開催(11月14日 秋田市)
3. Bulletin of Glaciological Research (BGR) および氷河情報センター・モノグラフのバックナンバーの電子化公開に向けた情報収集と準備
4. 雑誌「雪氷」68巻3号掲載の氷河情報センターニュース No. 28 ならびに WEB を通じての氷河情報の提供
5. 世界各地の氷河研究に関する資料等の収集
6. 氷河の研究・調査活動に対する援助と啓蒙

極地雪氷分科会

1. 総会・ミニシンポジウムの開催(11月14日 秋田市民交流プラザ ALVE(アルヴェ)、秋田市)
2. 各ワーキンググループによる研究推進
 - 1) 第VI期南極観測 WG

- 2) 第2期ドーム計画研究委員会
- 3) 南極航空機構想 WG

凍土分科会

1. 総会・研究会の開催(11月16日 秋田市 参加者:21名)
2. その他の活動
 - 2-1. 凍土分科会スモールセミナーをH16年4月4日(火)に韓国建設技術研究所と共催(ソウル市)、分科会メンバー9名参加。
 - 2-2. 凍土分科会のホームページの運営

雪崩分科会

1. 総会・研究会の開催(11月16日 秋田市 講演:3件 参加者:41名)
2. 第10回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナー開催(9月3日 京都市 参加者:32名)
3. 雪氷学会主催「第17回雪崩対策の基礎技術研修会」の開催協力(12月18~19日 札幌市 申込者:42名)
4. ニュースレターNo. 37, 38の刊行
5. 企画研究に対する助成(1件)
6. ホームページの更新と管理
7. 雪崩分科会メーリングリストの運営と管理
8. 「雪氷」の雪崩特集号発行に向けた編集協力
9. 雪崩研修会のテキスト改訂に向けた編集協力

雪氷物性分科会

1. 総会・2006年度雪氷物性シンポジウムの開催(11月16日 秋田市 講演:4件 参加者:17名)

衛星観測分科会

1. 総会・研究会の開催(11月16日 秋田市 講演:5件 参加者:21名)
2. 雪氷「衛星観測特集」の企画、編集

雪氷工学分科会

1. 総会(第14回)の開催(11月14日 秋田市 参加者:38名)
2. 着氷雪研究会の活動報告書の出版
3. ホームページの運営と管理

雪氷化学分科会

1. 総会・講演会の開催(11月16日 秋田市 講演:1件 参加者:27名)
2. 雪氷化学研究集会の実施(9月5,6日 札幌市 北海道大学低温科学研究所 講演:13件 参加者:55名)
3. ホームページの更新
4. 雪合宿の実施(2007年3月27日~3月29日 青森市 酸ヶ湯温泉 参加者 15名)

気象水文分科会

1. 「雪氷」気象水文特集号の企画・編集(第68巻、第6号)
2. 総会・講演会の開催(11月16日 秋田市 講演:8件 参加者:25名)

吹雪研究会

1. 研究会の開催(11月14日 秋田市 参加者:21名)

(2) 収支決算

2006年度収支計算書(案)

通常会計

2006/04/01~2007/03/31

(収入の部)

(単位円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B)-(A)	備考
1. 基本財産運用収入	599,280	593,778	-5,502	
基本金利息	306,280	300,778	-5,502	
井上基金利息	293,000	293,000	0	
2. 会費収入	12,818,600	12,564,000	-254,600	
正会員会費	6,831,600	6,871,000	39,400	
特別会員会費	640,000	610,000	-30,000	
賛助会員会費	3,530,000	3,300,000	-230,000	
購読会員会費	1,692,000	1,694,000	2,000	
分科会会費	125,000	89,000	-36,000	
3. 事業収入	8,550,000	10,666,773	2,116,773	
全国大会収入	3,000,000	4,075,688	1,075,688	
研修会収入	1,120,000	1,018,000	-102,000	
広告収入	1,120,000	1,399,895	279,895	
出版収入	3,310,000	4,173,190	863,190	
4. 助成金	1,000,000	1,010,000	10,000	
公開シンポジウム	1,000,000	1,010,000	10,000	
5. 内部移管勘定	1,542,000	1,721,449	179,449	
交付金支部収入	1,192,000	1,192,000	0	
事業収支差額(収入)	50,000	229,449	179,449	
広告支部受け取り金	0	0	0	
雪崩分科会	300,000	300,000	0	
6. 資産勘定からの繰入	1,060,000	1,060,000	0	
基金からの取り崩し	1,060,000	1,060,000	0	
その他	0	0	0	
7. 雑収入	311,416	332,876	21,460	
中谷奨励賞選考委託	300,000	300,000	0	
受取利息	1,416	6,266	4,850	
雑収入	10,000	26,610	16,610	
当期収入合計 a	25,881,296	27,948,876	2,067,580	
前期繰越収支差額	7,884,212	8,329,230	445,018	
収入合計 b	33,765,508	36,278,106	2,512,598	

(支出の部)

(単位円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B)-(A)	備考
1. 事業支出	14,183,000	15,168,134	985,134	
全国大会支出	2,500,000	3,905,385	1,405,385	
研修会等支出	2,760,000	2,064,591	-695,409	
出版支出	7,852,000	7,821,166	-30,834	
賛助配布予稿集	153,000	225,666	72,666	
IWAIS2007国際WS	0	500,000	500,000	
学会ホームページ	92,000	85,406	-6,594	
褒賞費	136,000	135,920	-80	
研究助成費	690,000	430,000	-260,000	
2. 管理費	11,300,810	10,629,941	-670,869	
事務費	2,211,010	2,030,169	-180,841	
給与等人件費	3,610,000	3,881,112	271,112	
家賃・共益費	2,922,000	2,922,000	0	
委員会費	1,138,960	491,967	-646,993	
会議費	1,103,840	959,056	-144,784	
役員選挙費	147,000	139,100	-7,900	
支払い手数料	112,000	169,287	57,287	
雑費	56,000	37,250	-18,750	
3. 内部移管勘定	1,542,000	1,721,449	179,449	
交付金本部支出	1,192,000	1,192,000	0	
事業収支差額(支出)	50,000	229,449	179,449	
広告支部受取金	0	0	0	
雪崩分科会	300,000	300,000	0	
4. 資産勘定への繰入	0	530,000	530,000	
当期支出合計 c	27,025,810	28,049,524	1,023,714	
当期収支差額 a-c	-1,144,514	-100,648	1,043,866	
次期繰越収支差額 b-c	6,739,698	8,228,582	1,488,884	

(注)資金の範囲は、現金預金とする。

社団法人日本雪氷学会 財産目録
2007年3月31日現在

科 目	金 額		
1. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金			
本部	40,245		
本部(編集委員会)	356		
北海道支部	33,049		
東北支部	0		
北信越支部	31,690		
関東以西支部	1,928		
氷河情報センター	0		
極地雪氷分科会	0		
雪崩分科会	1,829		
雪氷工学分科会	20,966		
雪氷物性分科会	0		
凍土分科会	0		
		130,063	
預貯金			
本部：三井住友銀行 飯田橋支店 6321723	5,293,624		
三井住友銀行 飯田橋支店 6802408	1,012,839		
通常郵便貯金	458,400		
北海道支部：北洋銀行 北7条支店	90,018		
東北支部：秋田銀行 郡山支店	60,229		
通常郵便貯金	2,875		
北信越支部：北越銀行 大島支店	118,227		
関東以西支部：りそな銀行 板橋支店	349,432		
氷河情報センター：三菱東京UFJ銀行 板橋支店	79,700		
極地雪氷分科会：通常郵便貯金	65,392		
雪崩分科会：通常郵便貯金	34,319		
		7,565,055	
振替口座			
本部：00150-8-134091	231,258		
本部：00130-0-776480	0		
東北支部：02330-8-14680	124,046		
北信越支部：00610-9-4671	57,800		
雪崩分科会：00670-0-26949	113,086		
雪氷工学：00510-2-72971	7,274		
		533,464	
未収金			
本部	4,902,690		
未収会費	4,476,000		
その他未収金	426,690		
		4,902,690	
棚卸資産			
本部	1,956,922		
北海道支部	27,300		
東北支部	97,625		
北信越支部	55,156		
関東以西支部	4,480		
		2,141,483	
流動資産合計			15,272,755

社団法人日本雪氷学会 財産目録
2007年3月31日現在

2. 固定資産				
基本財産				
第268回利付国債	2,300,000			
東京都公募公債第762回	10,000,000			
東京都公募公債第619回	10,000,000			
東京都公募公債第619回	3,000,000			
京都市平成10年度第2回公募公債	11,000,000			
埼玉県平成13年度第3回公募公債	5,000,000			
		41,300,000		
その他の固定資産				
支部・分科会活動支援基金				
定額郵便貯金	6,870,000			
敷金				
神田駿河台日本化学会館3F	2,115,000			
電話加入権				
H18-01001752, H14-01002635	149,968			
		9,134,968		
固定資産合計			50,434,968	
資産合計				65,707,723
2. 負債の部				
1. 流動負債				
前受金				
会費収入前受 (2007年度分)	5,304,000			
		5,304,000		
預り金				
源泉徴収税				
本部	72,792			
		72,792		
流動資産合計			5,376,792	
負債合計				5,376,792
正味財産				60,330,931
負債・正味財産				65,707,723

社団法人 日本雪氷学会

監事

監事

成田秀明 (成田)
成瀬康二 (成瀬)

正味財産増減計算書 (2006年4月1日から2007年3月31日まで)

科目	金 額	
I. 増加の部		
1. 資産増加額		
基本財産増加額	70,000	
流動資産増加額	558,090	
流動負債減少額	112,000	
増加額合計		740,090
II. 減少の部		
1. 資産減少額		
当期収支差額	100,648	
その他固定資産減少額	600,000	
流動資産減少額	101,840	
流動負債増加額	22,645	
減少額合計		825,133
当期正味財産増加額		-85,043
前期繰越正味財産額		60,415,974
期末正味財産合計額		60,330,931

貸借対照表

(2007年3月31日現在)

科目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	130,063	
預貯金	7,565,055	
振替口座	533,464	
未収金	4,902,690	
棚卸資産	2,141,483	
流動資産合計		15,272,755
2. 固定資産		
基本財産		
国債	2,300,000	
地方債	39,000,000	
基本財産合計		41,300,000
その他固定資産		
支部・分科会活動支援基金	6,870,000	
敷金	2,115,000	
電話加入権	149,968	
その他固定資産合計		9,134,968
固定資産合計		50,434,968
資産合計		65,707,723
II. 負債の部		
1. 流動負債		
前受金	5,304,000	
預り金	72,792	
流動負債合計		5,376,792
負債合計		5,376,792
III. 正味財産の部		
正味財産		60,330,931
(内当期正味財産 増加額)		-85,043
負債及び正味財産合計		65,707,723

- (注) 1. 有価証券は、取得価格で表記した。
 2. 資金の範囲は、現金預金とする。
 3. 基本財産は70,000増加。期末残高は41,300,000円
 4. 支部・分科会活動支援基金の期末残高の内訳は次のとおり
 本部：3,000,399円 北海道支部：380,000円 東北支部：367,000円
 北信越支部：310,000円 関東以西支部：1,042,000円 氷河情報センター：913,000円
 極地雪氷分科会：110,000円 凍土分科会：11,588円 雪崩分科会：600,000円
 雪氷物性分科会：36,013円 雪氷工学分科会：100,000円

(3) 監査報告

監査報告書

社団法人日本雪氷学会

会長 前 晋爾 殿

2007年5月14日

社団法人日本雪氷学会

監事 成田 秀明

監事 成瀬 廉二

民法第59条および本学会定款の定めるところに従い、2006年度（2006年4月1日～2007年3月31日）における、社団法人日本雪氷学会の会計ならびに業務の監査を実施した結果、以下の通り報告いたします。

1. 監査の方法

- 1) 本法人の経理と財産管理については、決算報告書、経理関係書類ならびに証憑類を閲覧、照合するなど、必要と思われる監査手段を用いて、経理処理と財産管理の正確性および的確性を検証した。
- 2) 理事の業務執行状況については、理事会の傍聴および各種事業に関わる連絡と記録書類の閲覧、ヒアリングなどを行い、その適法性および妥当性を検証した。


2. 監査意見

- (1) 経理および財産管理については、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表および財産目録の記載は会計帳簿等の記載と一致し、適正に行われたことを認める。
- (2) 2006年度全国大会（秋田市）は雪工学会との共催事業として実施されたが、両学会の事前の協議により、各学会の分担範囲や経理基準を明確に設定した上で運営されたことが認められる。大会の収支決算報告は、体系が分かり易く、明瞭かつ書類の不備はなく、適正であったと判断する。
- (3) 理事の職務執行および組織の運営については、法令ならびに学会定款に対する違反もしくは不適正な行為はなかったと判定する。むしろ、厳しい財政状況の下で、本部、各支部、各分科会は活発な学会活動を行っていることが認められる。特に、役員、会員の努力により、2006年度総支出額を総収入額の範囲に抑えたことは、健全財政確立への兆しが見えたと言えよう。なお、電子メディアの活用により、運営面

の効率性はもとより、透明性や的確性も向上した。

- (4) 例年、会費等の未収金が多く、その徴収の努力は認められるが、2006年度決算時点において未収金総額が前年度よりも高額となっている事実は看過できない。本学会の正会員の会費は前年度内に納入しなければならない(細則第7条3)ので、これが遵守されるよう、再度、会員意識を喚起する必要がある。また、会費の口座引き落とし払いの普及を図ることも重要である。これによって未収金が減少するとともに、会計事務の労力軽減と確実性の向上が期待できよう。

監事署名 成田秀明 

監事署名 成瀬康二  印

第3号議案 2007年度事業計画並びに収支予算書について

(1) 事業計画

1. 研究会等の開催

- 1-1. 2007年度全国大会を9月25～28日に富山市で開催する(日本雪工学会と合同).
- 1-2. 第18回雪崩対策の基礎技術研修会を開催する.
- 1-3. 公開シンポジウムを開催する(9月29日、科研費事業「雪氷楽会in富山」).
- 1-4. 日本地球惑星科学連合2007大会の中で、レギュラーセッションとして「雪氷学」、「雪氷圏と気候」、「コア研究が拓く地球環境変動史」、スペシャルセッションとして「2005/2006冬季における大気・雪氷の顕著現象」を開催する(5月).
- 1-5. IWAIS(構造物への大気着氷雪に関する国際ワークショップ)を横浜市で開催する。(10月9日～10月13日)
- 1-6. 各種講演会等の共催, 協賛, 後援を行なう.
- 1-7. 各支部・分科会等において研究会等を開催する.

2. 会誌等の刊行

- 2-1. 学会誌「雪氷」の第69巻3号～6号, 第70巻1号～2号を刊行する.
- 2-2. Bulletin of Glaciological Research (BGR) Vol. 25を刊行する.
- 2-3. 北海道支部で機関誌「北海道の雪氷」26号, ニュースレター(1～2回)を刊行する.
- 2-4. 東北支部で機関誌「東北の雪と生活」22号, ニュースレター(2回)を刊行する.
- 2-5. 北信越支部で機関誌「雪氷北信越」27号を刊行する.
- 2-6. 関東・中部・西日本支部で機関誌「雪氷フォーラム」9号, ニュースレター(1回)を刊行する.

3. その他の事業

- 3-1. 日本雪氷学会学会賞の表彰を行なう.
- 3-2. 中谷宇吉郎科学奨励賞の候補者を推薦する.
- 3-3. それぞれの支部が各種活動を行なう.
- 3-4. 当法人に設置された分科会, 研究会が各種活動を行なう.
- 3-5. 井上フィールド科学研究基金による研究助成を行なう.

4. 総務事項

- 4-1. 2007年度通常総会, 理事会ならびにその他会合を開催する.
- 4-2. 各委員会が活動を行なう.

(各支部・分科会等の計画の詳細は別添の活動計画を参照)

北海道支部

1. 支部総会の開催（札幌市）
2. 春の講演会の開催（札幌市）
3. 研究発表会の開催（札幌市）
4. 機関誌「北海道の雪氷」26号の刊行
5. ニュースレターの刊行（1～2回）
6. 地域講演会の開催
7. 積雪観測研修会の開催（札幌）
8. 理事会・幹事会等会議の開催
9. 支部ホームページの運営
10. 北海道支部創立50周年記念事業準備委員会の開催

東北支部

1. 支部総会の開催（秋田市）
2. 支部研究発表会の開催（秋田市）
3. 特別講演会の開催
4. 機関誌「東北の雪と生活」22号の刊行
5. ニュースレターの刊行（2～3回）
6. 地方講演会の開催（1～2回）
7. 見学会または雪に関する講習会の開催（1～2ヶ所）
8. 理事会の開催
9. 東北雪氷賞選考委員会の開催
10. 2007年度東北雪氷賞の表彰

北信越支部

1. 支部総会の開催（松本市）
2. 研究発表会・製品発表検討会の開催（松本市）
3. 講演会の開催（1回）
4. 見学会の開催（新潟・長野地区，富山・石川・福井地区で各1回）
5. 学習会の開催（新潟地区，長野地区，富山地区，石川地区，福井地区で計5回）
6. 講習会の開催（新潟地区，長野地区，富山地区で各1回）
7. 機関誌「雪氷北信越」27号の刊行

8. 2007年度北信越支部賞の表彰
9. 理事・幹事合同会議の開催（2回）
10. 顧問・評議員会の開催（1回）

関東・中部・西日本支部

1. 支部総会の開催（東京）
2. 関東分会雪氷サロン（3～4回）
3. 関西分会講演会（2回）
4. ニュースレターの刊行（1回）
5. 機関誌「雪氷フォーラム」第9号の刊行
6. 役員会（理事幹事合同会議）の開催（1～2回）
7. 各分会役員会の開催（随時）

氷河情報センター

1. 総会の開催
2. 雑誌「雪氷」ならびにWEBを通じての情報の提供
3. Bulletin of Glaciological Research (BGR)のバックナンバーの電子化
4. 過去に出版した氷河情報センターモノグラフの電子化
5. ミニシンポジウム開催の検討
6. 世界各地の氷河研究に関する資料等の収集
7. 氷河の研究・調査活動に対する援助と啓蒙

極地雪氷分科会

1. 総会の開催
2. ミニシンポジウムの開催
3. 各ワーキンググループによる研究推進
4. ホームページの充実

凍土分科会

1. 総会の開催
2. 講演会の開催
3. 凍土スモールセミナーの開催
4. ホームページの活用

雪崩分科会

1. 総会の開催
2. 研究会の開催
3. ニュースレター刊行 (2回)
4. 第11回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナーの開催
5. 第18回雪崩対策基礎技術研修会の開催協力
6. 分科会会員に対する研究協力
7. 「雪氷」の雪崩特集号発行に対する協力
8. ホームページの充実と活用
9. メーリングリストの活用

雪氷物性分科会

1. 総会の開催
2. 雪氷物性シンポジウムの開催

衛星観測分科会

1. 総会の開催
2. 研究会の開催
3. 分科会会員の研究協力
4. 衛星データ利用情報の提供

雪氷工学分科会

1. 総会の開催
2. 雪氷工学に関する情報交換
3. 着氷雪研究会のフォローアップ
4. その他

雪氷化学分科会

1. 総会の開催
2. 講演会の開催
3. 分科会ホームページの更新
4. 雪合宿の実施

気象水文分科会

1. 総会の開催
2. 講演会の開催
3. ニュースレター刊行

吹雪研究会

1. 研究会の開催

(2) 収支予算

2007年度収支予算書(案)

通常会計

2007/04/01~2008/03/31

(収入の部)

(単位円)

科目	2007年度予算 (A)	2006年度予算 (B)	増減 (A)-(B)	備考
1. 基本財産運用収入	581,400	599,280	-17,880	
基本金利息	288,400	306,280	-17,880	
井上基金利息	293,000	293,000	0	
2. 会費収入	12,685,000	12,818,600	-133,600	
正会員費会費	6,866,000	6,831,600	34,400	
特別会員費	580,000	640,000	-60,000	
賛助会員費	3,430,000	3,530,000	-100,000	
購読会員費	1,704,000	1,692,000	12,000	
分科会員費	105,000	125,000	-20,000	
支部会員費	0	0	0	
3. 事業収入	16,129,000	8,550,000	7,579,000	
全国大会収入	3,000,000	3,000,000	0	
研修会収入	1,070,000	1,120,000	-50,000	
IWAI2007国際WS	7,400,000	0	7,400,000	
広告収入	1,040,000	1,120,000	-80,000	
出版収入	3,619,000	3,310,000	309,000	
4. 助成金	1,000,000	1,000,000	0	
公開シンポジウム	1,000,000	1,000,000	0	
5. 内部移管勘定	1,506,000	1,542,000	-36,000	
交付金支部収入	1,156,000	1,192,000	-36,000	
事業収支差額(収入)	350,000	50,000	300,000	
広告支部受け取り金	0	0	0	
雪崩分科会	0	300,000	-300,000	
6. 資産勘定からの繰入	623,660	1,060,000	-436,340	
活動支援基金からの繰り入	623,660	1,060,000	-436,340	
その他	0	0	0	
7. 雑収入	316,920	311,416	5,504	
中谷奨励賞選考委託	300,000	300,000	0	
受取利息	1,920	1,416	504	
雑収入	15,000	10,000	5,000	
当期収入合計 a	32,841,980	25,881,296	6,960,684	
前期繰越収支差額	7,630,276	7,884,212	-253,936	
収入合計 b	40,472,256	33,765,508	6,706,748	

(支出の部)

(単位円)

科目	2007年度予算 (A)	2006年度予算 (B)	増減 (A)-(B)	備考
1. 事業支出	20,514,660	14,183,000	6,331,660	
全国大会支出	2,500,000	2,500,000	0	
研修会等支出	2,440,000	2,760,000	-320,000	
IWAI2007国際WS	6,900,000	0	6,900,000	
出版支出	7,699,660	7,852,000	-152,340	
賛助配布予稿集	150,000	153,000	-3,000	
学会ホームページ	95,000	92,000	3,000	
褒賞費	140,000	136,000	4,000	
研究助成費	590,000	690,000	-100,000	
2. 管理費	10,719,800	11,300,810	-581,010	
事務費	2,088,840	2,211,010	-122,170	
給与等人件費	3,575,000	3,610,000	-35,000	
家賃・共益費	2,922,000	2,922,000	0	
委員会費	914,960	1,138,960	-224,000	
会議費	1,011,000	1,103,840	-92,840	
役員選挙費	0	147,000	-147,000	
支払い手数料	152,000	112,000	40,000	
雑費	56,000	56,000	0	
3. 内部移管勘定	1,506,000	1,542,000	-36,000	
交付金本部支出	1,156,000	1,192,000	-36,000	
事業収支差額(支出)	350,000	50,000	300,000	
広告支部受取金	0	0	0	
雪崩分科会	0	300,000	-300,000	
4. 資産勘定への繰入	0	0	0	
当期支出合計 c	32,740,460	27,025,810	5,714,650	
当期収支差額 a-c	101,520	-1,144,514	1,246,034	
次期繰越収支差額 b-c	7,731,796	6,739,698	992,098	

M E M O